

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年12月17日)

- 1 関西広域連合「関西観光・文化振興計画」の見直しについて  
【文化政策課】・・・1ページ
- 2 首都圏誘客キャンペーンの実施について  
【観光戦略課】・・・2ページ
- 3 世界ジオパークネットワークからの山陰海岸ジオパーク再認定通知について  
【観光戦略課】・・・3ページ
- 4 ジャマイカ陸上競技連盟理事によるキャンプ候補地視察の概要について  
【スポーツ課】・・・5ページ

文化観光スポーツ局



# 関西広域連合「関西観光・文化振興計画」の見直しについて

平成26年12月17日  
文化政策課  
観光戦略課  
緑豊かな自然課

関西広域連合では、府県の枠組みを越え、関西を一つとして捉える国際観光・文化振興の戦略的取組の方向を明記した「関西観光・文化振興計画」を策定しています（平成24年3月策定）。

現在、平成27年度からの次期計画を策定中で（計画期間：平成27年度～29年度）、これまでに関西広域連合委員会での議論、有識者会議からの意見聴取等を行いながら、その作業を進めています。

## 1 現行計画からの主な変更点

東京オリンピック・パラリンピック等の開催を、関西の魅力ある多様な観光・文化資源に触れてもらう絶好の機会として捉え、関西への訪日外国人旅行者数800万人等をめざす『2020年（フレフレ）関西！800万人作戦』を新たな目標に、国際観光・文化振興の新たなステージとして戦略的な取組方向を明記した。

### (1) 新たな目標の設定

広域観光圏関西のブランド力、周遊力、滞在力をさらに高めていくため、①関西により多くの外国人観光客に訪れてもらう、②関西により長く滞在してもらう、③関西の文化に触れてもらう、ことで関西ファンの拡大を目指す『2020年（フレフレ）関西！800万人作戦』を新たな目標に設定した。

### (2) 目標達成のための戦略

#### ① KANSAI を世界に売り込む

・歴史・文化遺産などオリジナルの観光・文化資源を組み合わせた滞在日数等に応じたツアールートや他の観光圏からの外国人観光客を関空アウトに誘導する広域ツアールート の確立 など

#### ② 新しいインバウンド市場への対応

・外国人観光客に人気の高い産地グルメ、ショッピング、温泉、和のしつらえなどの積極的なPR、花見や紅葉、地域の祭りなど季節感溢れる関西の魅力をタイムリーに発信し、新たな誘客とリピーター化を図る

・国のクールジャパン事業と連携し、「和食」や「まんが・アニメ」「ファッション」など関西で体験できる関西クールジャパン事業を展開する

・瀬戸内海や琵琶湖などの船の周遊やレンタカーで移動して「山陰海岸ジオパーク」や「地質の道」、関西の「城」などを巡る新しい広域観光スタイルの確立 など

#### ③ 的確なマーケティング戦略による誘客

・東アジアの国・地域にはリピーターが求める情報の発信、今後成長が期待できる東南アジア諸国には「身近に行ける関西」をアピールする など

#### ④ 安心して楽しめるインフラ整備の充実

・Wi-Fi環境整備や観光案内標識、決済環境の整備、ムスリムへの対応 など

※ムスリム…イスラム教徒

#### ⑤ 関西文化の魅力発信

・「人形浄瑠璃」「祭り」などの文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業を展開し、関西の魅力を発信する

・「関西文化.com」の多言語化や掲載情報の充実

・「関西文化の日」を通じた関西の文化に親しむ機会の充実 など

#### ⑥ 東京オリンピック・パラリンピック等に向けて

・国とも連携した関西文化プログラムの実施、関西の歴史的周年事業をつなぎ発信する関西文化首都年事業の関西各地での実施 など

## 2 見直しに係るスケジュール

- ・関西観光・文化振興計画検討委員会による協議（H26.8.11、H26.10.3）
- ・関西広域連合委員会での協議（H26.11.30）
- ・パブリックコメントの実施（H26.12.9～H27.1.5）
- ・関西広域連合委員会での最終改定案の協議（H27.1）
- ・関西広域連合議会での議決及び確定（H27.3）

## 首都圏誘客キャンペーンの実施について

平成26年12月17日

観光戦略課・交通政策課

羽田空港第2ターミナルにおいて、下記のとおり神戸市、鳥取空港の利用を促進する懇話会、米子空港利用促進懇話会と連携し、羽田（神戸乗継）路線及び県内両空港（「鳥取砂丘コナン空港」、「米子鬼太郎空港」）の愛称化を始めとした観光・路線PRを実施し、県内両空港を活用した観光客の誘客促進を図ります。

### 1 観光PR概要

(1) 日時 平成26年12月17日（水）～20日（土）10:00～16:00

(2) 場所 羽田空港第2ターミナル屋内展望フロア

(3) 内容 神戸、鳥取、米子の観光PRブース設置（ポスター、観光・路線パンフ、チラシ配架）  
ステージイベント、写真撮影会、特産品抽選会等（※17日、20日のみ）

#### (4) 主なイベント

17日（水） 鬼太郎君・コナン君・キャプテンタワー君との写真撮影会、神戸市ステージイベント、  
鳥取県ステージイベント、クイズ大会、特産品のふるまい、知事参加ステージイベント等

18日（木） トリピーとの写真撮影会、缶バッジ制作体験、ノベルティ配布等

19日（金） トリピーとの写真撮影会、缶バッジ制作体験、ノベルティ配布等

20日（土） トリピーとの写真撮影会、クイズ大会、鳥取県・神戸市の特産品の当たる抽選会等

### 2 知事による観光PR概要

(1) 日時 平成26年12月17日（水）15:30～16:00

#### (2) 参加者

鳥取県 平井鳥取県知事、稲井とっとり観光親善大使、鳥取空港の利用を促進する懇話会、県  
神戸市 栗原有紗スマイル神戸、神戸国際観光コンベンション協会、神戸空港利用推進協議会、市

#### (3) 主なイベント

・知事による観光・路線PR挨拶

※名探偵コナン君、ゲゲゲの鬼太郎君も参加

・神戸市による観光・路線PR

※キャプテンタワー君も参加

・抽選会の開催（先着30名） 松葉ガニ（鳥取県）、灘の酒（神戸市）など特産品の当たる抽選会を開催

### 3 羽田空港フューチャービジョンでのPR

羽田空港第2ターミナルのフューチャービジョンにおいて、鳥取県ウエルカニキャンペーン、飛行機に乗ってグループ旅行キャンペーン及び航空路線の広告掲載を実施予定。

期間 平成26年12月15日（月）から平成27年2月28日（土）

概要 羽田空港第2ターミナルフューチャービジョン全便でのCM放映

※12分間に1回15秒、鳥取県ウエルカニキャンペーンと飛行機に乗ってグループ旅行キャンペーン及び航空路線紹介CMを交互に放映

# 世界ジオパークネットワークからの山陰海岸ジオパーク再認定通知について

平成26年12月17日  
 緑豊かな自然課  
 観光戦略課

世界ジオパークネットワーク（GGN）事務局から、12月4日付けで山陰海岸ジオパークの世界再認定・エリア拡大の通知があり、今後4年以内に次の事項について取組を達成するようにとの勧告があった。

## 1 勧告の内容及び取組状況

勧告内容	取組状況
山陰海岸ジオパークでは住民参加が積極的に行われている。観光客にジオサイトの正しい地質学的解釈を伝達するために、地質学的知識やジオパークの理念を身に付けたガイドの育成が、今後の課題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイド交流会やガイド研修会において、学術関係者から地質学的知識やジオパークの理念等について説明・研修を行っている。</li> </ul>
世界ジオパークネットワークの一員として、山陰海岸ジオパークは、ますます外国人観光客を受け入れる準備を整えなければならない。ジオパーク関連就業者、特にガイドは外国語でのコミュニケーション能力を向上しなければならない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各府県市町等において、山陰海岸ジオパークのパンフレットや看板の多言語化に取り組んでいる。</li> <li>本県においては、エリア内の主要施設のWiFi機器整備を進めるとともに、アプリを活用した外国語ジオサイト案内の整備やタブレットを活用した外国語通訳システムの導入などを当初予算に向けて検討している。</li> </ul>
山陰近畿自動車道と北近畿豊岡自動車道の延長が必要である。これによりジオパークエリアを訪れる観光客の数を増やすことができる。また、道路建設の中で、ジオサイトとして保護されるべき地質学的価値のある露頭が新たに発見される可能性もある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>山陰近畿自動車道については、3府県が連携し、「山陰近畿自動車道整備推進協議会」を組織し、国への要望活動を進めるなど、県土整備部において整備促進のための取組を行っている。</li> <li>北近畿豊岡自動車道については、兵庫県において国への要望活動を進めるなど、整備促進の取組を進めている。</li> </ul>
新しい拡大エリアでは、文化的・歴史的遺産がよく実証されている。長尾鼻、井出ヶ浜、浜村温泉でよく発達している板状節理や、地震活動や地殻活動の証拠について、もっと多くの地質遺産で解説パネルや施設を設置し、紹介する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大エリアにおいて、鳥取市と連携し、ジオパーク案内看板の整備、あおや郷土館へのジオパークコーナーの整備、散策モデルコースの設定等を推進し、ジオサイトの地質学的な価値等の紹介を進めている。</li> </ul>
グローバルなGGN活動への積極的な参加は、GGNメンバーにとって「必須」である。これには、貴ジオパークでのGGNの促進と可視性、他のGGNメンバーとの緊密な連携、GGNの会議や共通の活動への参加を含む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度APGN（アジア太平洋ジオパークネットワーク）山陰海岸シンポジウムを開催するほか、今年カナダで開催された世界ジオパーク国際ユネスコ会議への参加やギリシアのレスボスジオパークとの姉妹提携など、GGNの活動に積極的に参加している。</li> </ul>

## 2 今後の対応について

このたびの通知は、現地審査員から指摘されていた内容も含まれており、既に取組を始めたものもある。山陰海岸ジオパーク推進協議会において、学術関係者とも協議しながら対応を検討し、4年後の再認定審査に向けて、順次取組を進めていく。特に、外国人対応については来年9月にAPGN山陰海岸シンポジウムが開催され、多くの外国人の参加があることから、速やかに可能な対応を進めていきたい。

2014年12月4日

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11

山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局ジオパークチーム御中

ユネスコ生態・地球科学部自然科学局

貴ジオパークの再認定審査時の書類と関連報告書の審査の結果、GGN事務局は、2014年9月18日のカナダ・ストーンハンマージオパーク・セントジョンの事務局会議に於いて、山陰海岸世界ジオパークへさらに4年間GGN加盟メンバーとして継続を再認定することを決定した(いわゆるグリーンカード)。また、山陰海岸世界ジオパークの拡大が受理された。

どんな良い世界ジオパークにも改善の余地があるように、山陰海岸世界ジオパークにもその運営について4年以内に以下の活動を達成することを奨励する：

#### 勧告

1. 山陰海岸ジオパークでは住民参加が積極的に行われている。観光客にジオサイトの正しい地質学的解釈を伝達するために、地質学的知識やジオパークの理念を身に付けたガイドの育成が、今後の課題である。
2. 世界ジオパークネットワークの一員として、山陰海岸ジオパークは、ますます外国人観光客を受け入れる準備を整えなければならない。ジオパーク関連就業者、特にガイドは外国語でのコミュニケーション能力を向上しなければならない。
3. 山陰近畿自動車道と北近畿豊岡自動車道の延長が必要である。これによりジオパークエリアを訪れる観光客の数を増やすことができる。また、道路建設の中で、ジオサイトとして保護されるべき地質学的価値のある露頭が新たに発見される可能性もある。
4. 新しい拡大エリアでは、文化的・歴史的遺産がよく実証されている。長尾鼻、井手ヶ浜、浜村温泉でよく発達している板状節理や、地震活動や地殻活動の証拠について、もっと多くの地質遺産で解説パネルや施設を設置し、紹介する必要がある。
5. グローバルなGGN活動への積極的な参加は、GGNメンバーにとって「必須」である。これには、貴ジオパークでのGGNの促進と可視性、他のGGNメンバーとの緊密な連携、GGNの会議や共通の活動への参加を含む。

山陰海岸世界ジオパークのGGNにおける継続的な参加は、新旧パートナーにとって共通の価値観、関心、または背景を共有する素晴らしい機会となる。国際的なパートナーシップは、このネットワークに参加する主な理由である。貴ジオパークのGGN活動への継続的な貢献を歓迎し、私たちの会議や、共通の出版物やウェブサイト、および他の大陸の世界ジオパークとのいろいろな交流に参加することを期待する。2年後の2016年9月にイギリス・リビエラ世界ジオパークで開催される第7回ジオパーク国際会議は、この交流の絶好の機会であり、貴ジオパークの参加を希望する。また2015年9月3～6日のフィンランド・ロクア世界ジオパークで開催されるEGN(ヨーロッパジオパークネットワーク)会議(<http://www.egnconference2015.com/>)と、2015年9月15～19日に山陰海岸世界ジオパークで開催されるAPGN会議についても予定しておいてほしい。

2014年9月、カナダの第6回ジオパーク国際会議に於いて、GGN総会は、任意団体としての世界ジオパークネットワークがNPO法人格をもつことについて全会一致で可決した。またGGN総会は、ユネスコ世界ジオパークに向けた運用ガイドライン(案)を承認し、さらに各世界ジオパークからの1,000ユーロ/年の負担金についても可決し、これによりユネスコの世界ジオパークのためのキャパシティ・ビルディングを支援するものとする。

実り多い協力が継続されることを期待する。

パトリック・マッキーバー

国際地球科学計画事務局

地球科学ならびに自然由来のハザードリスク軽減課長

# ジャマイカ陸上競技連盟理事によるキャンプ候補地視察の概要について

平成26年12月17日  
ス ポ ー ツ 課

2015年に中国で開催される第15回IAAF世界陸上競技選手権北京大会の事前キャンプ候補地の視察のため、ジャマイカ陸上競技連盟理事が来県されましたので、その概要を報告します。

## 1 来県の趣旨

第15回IAAF世界陸上競技選手権北京大会の事前キャンプ候補地として本県の練習施設や宿泊施設を見学された。

県、競技団体からは、来年の世界陸上北京大会をはじめ2020年東京オリンピック・パラリンピックでの事前キャンプを本県で開催するよう要望した。

## 2 来県者

ジャマイカ陸上競技連盟(JAAA) ラドロー・スティーブン・ワッツ 氏

※JAAAでは財務担当理事を務め、2007年第11回世界陸上競技選手権大阪大会の鳥取キャンプでは、ジャマイカチームに同行し来県されている。

## 3 来県日程

平成26年12月4日(木)から5日(金)まで 1泊2日

## 4 現地視察の要旨

- ・2007年の鳥取キャンプの際の練習環境や宿泊施設などの対応には大変満足している。
- ・2015年の世界陸上競技選手権北京大会では、選手45名・コーチ8名・トレーナー10名・マネージャー2名の計65名程度の選手団を予定している。
- ・仮に鳥取でキャンプを実施する場合、8月8日又は9日からの10日間程度になると考えている。
- ・キャンプ地決定は、12月末又は1月上旬のJAAA理事会で行われる。
- ・鳥取でキャンプを実施することになると、北京に直接行くことに比べ移動経費等のコストが割高になるというネックがある。

## 5 参 考

(1) 第15回IAAF世界陸上競技選手権 北京大会

[期日] 2015年8月22日(土)～30日(日) 9日間

[会場] Bird's Nests Stadium (北京市)

(2) 第14回IAAF世界陸上競技選手権 ロシア大会(2013)のジャマイカチーム成績

[男子] U. ボルト (100m 優勝、200m 優勝、4×100mR 優勝)

W. ウィアー (200m 2位)

N. カーター (100m 3位、4×100mR 優勝)

[女子] S. A. フレーザープライス (100m 優勝、200m 優勝、4×100mR 優勝)

11  
12

13  
14